

おばあちゃんのにおにぎり

下館小学校 三年 のざわ はるの

わたしのおばあちゃんは、農家の仕事をしています。おばあちゃんの作るお米と野菜は、とてもおいしくて、食べれば食べるほどおなかですいてきます。

おばあちゃんのりょう理で一番すきな物は、おばあちゃんのにぎるにおにぎりです。

におにぎりの具は、こんぶです。甘いこんぶが、たくさん入っていてとてもおいしいです。おばあちゃんは、お米一つぶ一つぶが、つぶれないうちに「ギュッギュッギュッ」と三回にぎって終わりです。そして、おしおをたくさんまぶしてかんせいです。

ふっくらほかほかしていて、とても心が温かくなります。おいしいにおにぎりを作ってくれるおばあちゃんは、とてもやさしいです。におにぎりのおいしさややさしさが同じなんだなとわたしは思いました。

さいきんは、じゅう道に行く前になら

お母さんがおにぎりを作ってくれます。おにぎりは、パワーの出るふしぎな食べ物です。おにぎりを食べると力がわいて、じゅう道もがんばれます。

お母さんのおにぎりは、おばあちゃんのおにぎりにやっぱりにています。

「さすが、おばあちゃんのことだなぁ」とわたしは思いました。

わたしもいつかおばあちゃんみたいに、ふくらほかほか、心が温まるおにぎりを作れるようになって、自分の子どもにも作ってあげたいです。

おいしいお米や野菜を作ってくれるおばあちゃんがいるからこそ、毎日元気に生活ができます。

わたしはまた、おばあちゃんのおにぎりが食べたくなりました。